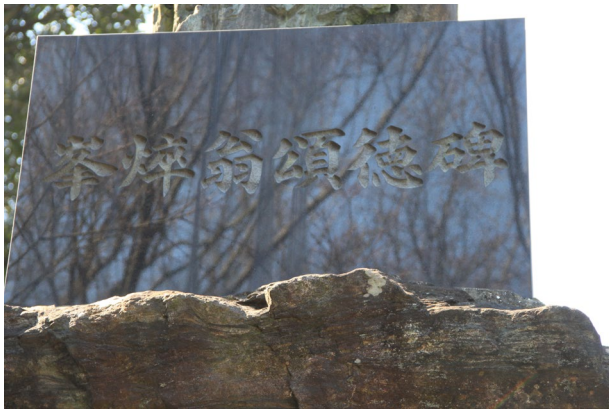
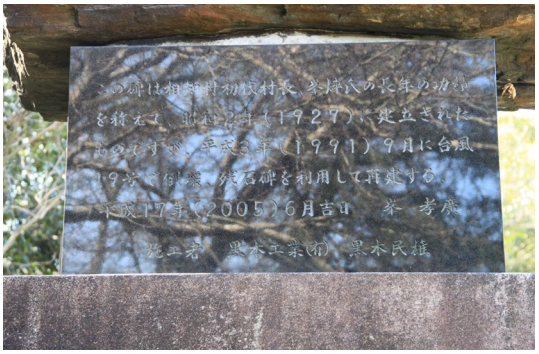
番号	30	峯 焠（きとう） 翁頌徳碑		
所在地		唐津市相知町相知		
災害別		平成３年（１９９１）台風１９号　暴風		
目的別		遺　構	建立年	平成１７年６月再建
特記事項				

峯 焠（きとう）氏は嘉永４年（１８５１）相知村に生まれ、相知村初代村長となった人である。この碑はその功績をたたえ、昭和２年（１９２７）に建てられたものであるが、平成３年９月２７日の台風１９号で倒壊、その後再建されたが碑の周囲には今でも破損した石碑の一部が残されている。



台風１９号は９月２７日、非常に強い勢力のまま長崎県佐世保市に上陸。気象庁のデータでは、２７日佐賀市での最大瞬間風速５２．６ｍ/ｓを記録。この台風は勢力を維持したまま北上し、猛烈な風により全国的に甚大な被害をもたらした。特に青森県では収穫前のリンゴがほとんど被害を受け「りんご台風」とも呼ば

れている。再建された碑には、もともとの碑文に加えて、次のように記されている。



「この碑は初代相知村長峯 焠（きとう） 氏の長年の功績を称えて、昭和２年（１９２７）に建立されたものですが、平成３年（１９９１）９月に台風１９号で倒壊、残石碑を利用して再建する。平成１７年（２００５）６月吉日　峯孝廣　施工者　黒木工業（有）黒木民雄」

国土地理院電子国土 Web